透明な心

始まりは
小さな石ころに
つまずいただけ…

小さな刺が心の片隅に
ほんのチョッと
刺さっただけなのに…

出口のない入口へと
ぼくを誘いだす

嫌なことは忘れちゃえ
そんな風に言うけれど

苦しいことはどうするの？
悲しいことはどこにやるの？

ぼくには上手く出来ないよ

強い人ほど意地悪で
幸せな人ほど、わがままで

真似てみたけど
出来なくて

なんだか
ぼく、笑っちゃった

どんな風に思うとか
どんな風に生きるとか
人に邪魔されることじゃなく

答えを人に求めても
出口を必死に探しても
それは自分の心の中にあり

何も見えなくなったときは
ひとつ深く息を吐いてごらん
その、透明な心の中に
探したものは、見つかるよ